

命の水

山添村立山添中学校二年

栗林 瑠采

水は私たち地球上の生命の源であり、農業や工業など生活において必要不可欠なものです。特に私たちの身近にある生活の中では、手洗い、うがい、トイレ、お風呂、食事の準備などの場面で水が使われています。

私の住んでいる地域は、田んぼや畑が多くあり、大きなダムもあります。ダムは雨水をためて、農業や飲水、発電にも使われています。私が小学生のとき、農業の方からお米が育つにはどれだけ水が大切かを教えてもらいました。田んぼに流れる水が清らかであることが、お米の品質に大きく影響することを学びました。田植えでは、苗を植えるために水を張った田んぼに入り、泥だらけになりながら田植えを楽しみ、稲刈りでは黄金色に実った稲を刈る嬉しさを学びました。これらの体験を通じて、水の大切さを実感しました。

そして、中学生の私にできる綺麗な水を保つ方法はなにがあるか考えました。

まず一つ目は、家庭での水の使い方を見直すことです。無駄に水を流さないよう心がけ手洗い、うがい、歯磨きなどの時は一旦水を止めるよう家族で意識しています。これだけでも、かなり節水になります。実際この方法を気をつけるようになってから、月々の水の使用量が減っていると母から聞きました。

二つ目は、洗剤や化学薬品を使う時には環境に優しい物を選ぶよう家族で共有し、買い物をしていきます。家庭菜園をする時も、水やりには雨水をためて、その水を再利用するなどできると思っています。

三つ目は、水の流れを妨げないことも大切だと思います。川などの水の流れが止まると生態系への悪影響があるだろうし魚が死んでしまいます。そのため、公園や川の近くでゴミが落ちていたら拾うようにし、ゴミが水の流れを塞がないようにするべきです。そして地域で行わ

れているクリーンキャンペーンにも積極的に参加しています。

水は私たちの生活に欠かせない資源であると同時に、時にはとても怖い災害を引き起こします。洪水、土砂崩れなどがあります。私が生まれた年に、東日本大震災があり、水の影響でたくさんの方が亡くなりました。震災後は水不足で飲水さえ確保するのが困難だったようで、水の重要性が再認識されたと思います。私はそのような経験をしたことがないので、インターネットで調べることで済ませました。同じような悲劇が起こらないために、普段から防災意識をもち、非常時のために必要物資の準備が大切だと思います。私の家では、震災で家族がバラバラになったときの集合場所を決めていたり、避難バッグを用意してあり、バッグの中身は定期的に見直しを行っています。いつ起こるか分からない災害のために、日々意識することが大切だと思います。

そして、日本では災害がない限り、めったに

深刻な水不足になることはありませんが、世界的に見てみると、飲水すら手に入らず、亡くなってしまう小さな赤ちゃんや子どもがたくさんいる国があるということも忘れてはいけません。と思います。自分や家族、地域、日本が安全安心であればそれで良い、これでは駄目で、世界的なことを考えながら生活していくことや今を生きている私たちができることは、しっかりと意識をしながら生活することが大切だと思います。